臨床研修制度案内

救命救急センター・茨城県地域がんセンター

公益財団法人 筑波メディカルセンター
筑波メディカルセンター病院
Tsukuba Medical Center Hospital

病院長メッセージ

〉〉〉医師としての礎を築く大切な２年間 その答えは必ず現場にあります

病院長　河野 元嗣

医学生の皆様、当院臨床研修のパンフレットをご覧いただきありがとうございます。
医師卒後臨床研修は、これから始まる医師人生の礎を築く、非常に大事な２年間です。どこの施設を研修先に選ぼうか、大いに迷っておられることと思います。当院の臨床研修は、研修医の皆さんのご希望に沿って、様々な調整が可能です。出身大学や出身地を選考の条件にしたことは一度もありません。また、将来どのような領域に進んでも、当院での２年間の経験は必ず役に立ちます。将来、様々な領域で活躍していただくための能力を身に着ける最適の教育環境をご用意してお待ちしております。
当院臨床研修の理念、いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する。に共感を覚えてくれたあなた、医師としての礎を一緒に築いてゆきましょう。お伝えしたいことはまだまだ沢山あります。是非一度見学にいらしてください。
“答えは現場にある！”

理念

**いかなる状況でも
目の前の患者さんと真摯に
向き合える医師を養成する**

医師になると、ER・外来・病棟・災害現場など様々な状況に遭遇します。私たちはそのような場面におかれたとき、立ち往生しない医師を育てていくことを目指しています。

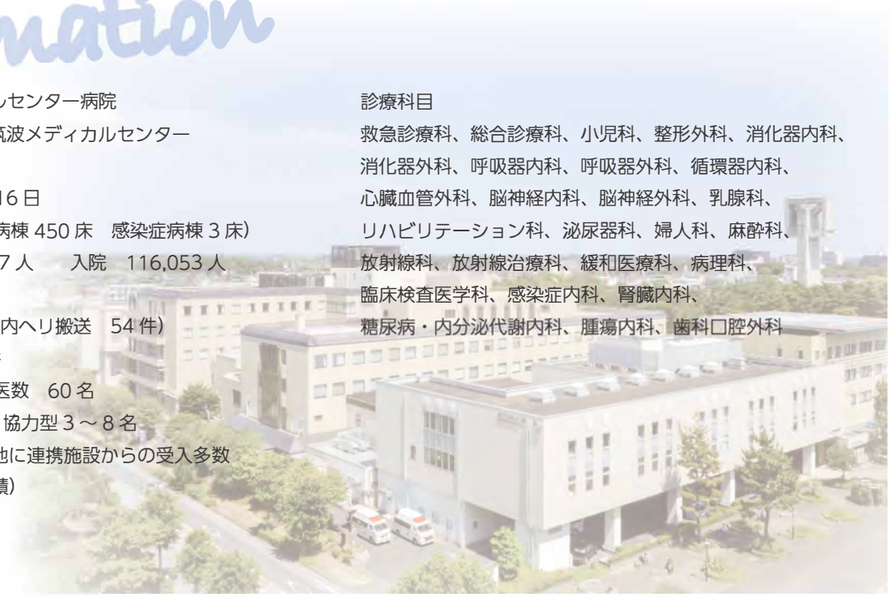
基本方針

- 高い倫理性と豊かな人間性を有し、責任ある社会人として主体的に行動できる
- 患者およびその家族を全人的に理解し、患者中心のチーム医療を実践できる
- 高度急性期医療を理解し、Common disease や救急疾患の診断治療ができる
- 疾病予防や患者の生活の質(QOL) 向上を目指し、地域社会に貢献できる

病院概要

病 院 名　筑波メディカルセンター病院
開 設 者　公益財団法人筑波メディカルセンター
病 院 長　河野　元嗣
開 院 日　1985 年 2 月 16 日
病 床 数　453 床（一般病棟 450 床　感染症病棟 3 床）
患 者 数　外来　174,887 人　　入院　116,053 人
救急患者総数　26,740 人
救急搬送件数　5,056 件（内ヘリ搬送　54 件）
ドクターカー出動　240 件
医 師 数　146 名　指導医数　60 名
研 修 医　基幹型 22 名、協力型 3 ～ 8 名
専 攻 医　基幹型 3 名、他に連携施設からの受入多数
（診療統計は 2022 年度実績）

診療科目
救急診療科、総合診療科、小児科、整形外科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経内科、脳神経外科、乳腺科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、緩和医療科、病理科、臨床検査医学科、感染症内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌代謝内科、腫瘍内科、歯科口腔外科



研修を希望するみなさんへ

当院の臨床研修の理念は「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」です。けがや病気の方を助けたいという気持ちは医師を目指す誰もが持っていると思いますが、‘いかなる状況でも“真摯に向き合う’ためには、自分自身が健康で人として成長し、その上に医学の知識と経験、また自分の能力を知り他スタッフとどう連携できるか瞬時に判断する冷静さやコミュニケーション能力が必要です。当院では、この理念のもと、病院全体、多職種一丸となって研修医の育成に力を入れています。
当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院で、メディカルラリーや学術集会、勉強会など教育は充実しています。全国から研修医は集まっており、進路も救急医療から基礎医学まで様々です。
是非一度見学にお越しください！

プログラム責任者　齊藤 久子
専門部長
医師卒後臨床研修委員会委員長

研修スケジュール

診療科	期 間	内　　容
オリエンテーション	３週（12 日間）	法人全体で４月新入職者のオリエンテーションからスタートし、他部門との交流を深めるとともに、病院機能や他職種の役割を理解するため、診療科研修開始前に、看護部、診療技術部、介護医療支援部、事務部など全部署の研修を行う。
内科（必修科目）	24週（6ヶ月）	入院患者の診療を中心に、臨床医として必要な基本的診療の知識・技能・態度を習得する。循環器内科・呼吸器内科・総合診療科・消化器内科を1.5ヶ月ずつローテーションする。
救急部門（必修科目）	12 週（3 ヶ月）	主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的知識・技術・態度を修得する。
地域医療（必修科目）	４週（1 ヶ月）	原則的に１週間ずつ４施設を選択し、地域医療・病診連 携について学ぶ。在宅医療研修を経験する。
外科（必修科目）	８週（2 ヶ月）	外科の基本的診療と臨床検査の選択と評 価、手術適応の決定、手術手技・基本的な治療法などについて修得する。消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・婦人科・乳腺科から選択。
小児科（必修科目）	８週（2 ヶ月）	救急外来診療および入院患者の検査・治療を通じて、診察 方法、基本手臨床検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて修得する。
産婦人科（必修科目）	８週（2 ヶ月）	霞ヶ浦医療センター、筑波大学附属病院、つくばセントラ ル病院、総合守谷第一病院から選択する。
精神科（必修科目）	４週（1 ヶ月）	茨城県立こころの医療センター、水海道厚生病院、筑波大学附属病院から選択する。
選択研修	24 週（6 ヶ月）	院内の全診療科、協力病院・協力施設から選択可能（要調整）。
一般外来研修	４週（20 日間）	内科（総合診療科）・小児科・地域医療研修で『並行研修』としておこなう。

※調整期間9週

ローテーション例（上段：1 年目、下段 2 年目）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	内　科		内　科		内　科		救急診療科			選択	外科系	
	地域	精神	小児科		産婦人科		選択	選択	選択	選択	選択	選択
B	救急診療科			選択	外科系		内　科		内　科		内　科	
	地域	選択	選択	選択	選択	精神	産婦人科		小児科		選択	選択

プログラム協力施設

協力型病院
筑波大学附属病院 / 霞ヶ浦医療センター / 茨城県立中央病院 / 茨城県立こころの医療センター
筑波学園病院 / つくばセントラル病院 / 水海道厚生病院 / 東京医科大学茨城医療センター
総合守谷第一病院

協力施設
二の宮眼科 / 成島クリニック / つくば辻クリニック / 石岡・平本皮膚科医院 / あおきこどもクリニック
大和クリニック / 飯岡医院 / 坂根Mクリニック / つくば在宅クリニック
北茨城市民病院附属家庭医療センター / ちかつクリニック / つくばキッズクリニック
茨城県赤十字血液センター / 茨城県つくば保健所 / 茨城県土浦保健所

当院の臨床研修の特色 features

ER 型救命救急センター

ER 型救命救急センターとして、救急診療科と総合診療科が年間約 2 万人の 1 次から 3 次までの救急患者と、5,000 台を超える救急車受入れを行っています。
これらの救急患者や common disease 患者の診断治療、およびその後のマネジメントを通じて、地域医療機関と協力して医療の提供・実践を行っています。

地域の小児救急を担う小児科

ICU レベルから common disease の症例まで多数経験できます。

夜間救急外来

救急診療科・総合診療科のローテート中はもちろんのこと、他科ローテート中も夜間の当直業務があります（月に 4 ～ 5 回ほど）。1 年目の 5 月から夜間救急外来での研修がはじまります。1 年目研修医が診察した時には、指導医が必ず目を通す体制になっており、安全な環境です。毎回、指導医からフィードバックを得ながら 21 時半までの夜間の救急外来での業務で経験を積みます。そして、10 月には、本格的な当直としての業務が始まります。当直時も指導医がおり、いつでも相談できる体制になっています。

一般外来

指導医のもと、初診だけでなく、慢性疾患の継続診療について研修します。

ドクターカー

乗用車型のドクターカーを所有しており、現場で救急車とドッキングする方式をとっています。ローテート中には指導医と出動し、現場活動する機会もあります。

ヘリポート

ヘリポートを備えており、茨城県ドクターヘリ・茨城県防災ヘリなどが発着します。多発外傷・脊椎損傷など当院からの患者搬送にも使用されます。

多彩な症例

救急診療科
- 多発外傷
- 急性腹症
- 熱傷　中毒

整形外科
- 骨折
- 四肢切断

総合診療科
- 敗血症
- 蜂窩織炎
- 尿路感染症

循環器内科
- 急性心筋梗塞
- 重症心不全

小児科
- 気管支喘息
- 熱性けいれん
- 川崎病

脳神経外科・脳神経内科
- 脳出血　脳梗塞　クモ膜下出血

小児から高齢者まで、これらの疾患や外傷が多く搬送されます。各専門医とともに診療することで初期対応能力が磨かれます。

研修医の１日 One day

教育コンテンツ Content

研修医勉強会（毎週木曜）

各診療科の講義や、縫合トレーニング、ロールプレイなどの実技実習も行っています。研修医同士で内容を考える形式のため、自分達が本当に現場で必要とする知識を習得できます。当院にはない診療科も講師を招いて講義を受けています。

メディカルラリー

基本的臨床技術の評価と技能向上のため、仮想の医療現場において医療チームが状況評価、傷病者の診察・処置などを行う想定訓練競技会を開催しています。

研修医フォーラム

3 ヶ月に 1 回、研修医側から何かを発信していくイベントです。研修中に感じたことを話し合ったり、失敗事例を共有したり、テーマはさまざまです。3 月には研修医卒業式が開催され、2 年間の研修を振り返ります。

CPC

奇数月第 2 木曜日は CPC を開催し、研修医が臨床・病理の側面から発表を行います。

つくば研修医学術集会

年に 1 回研修医全員が、臨床研究・症例発表等を学会さながらの形式で行います。この会をきっかけに全国学会への発表を行うことを目標にしています。

各種資格

BLS・ACLS・JATEC 等の講習会の斡旋や参加費の補助もあり Off the job training も盛んです。

研修のサポート体制 Support

教育研修管理室

2010 年度から発足し、専任事務体制で研修制度を支援しています。

医局・机

上級医と交流が図れる大医局制となっています。研修医一人ひとりに、机、ノート PC、本棚、ロッカー、白衣が貸与されます。また、医局にオーダリング端末やコピー機が配備されています。

シミュレーション・らぼ

ACLS トレーナーや AED などのシミュレーターが使用可能で各資格の取得に向けての練習もできます。

図書室

当院契約の電子ジャーナルや UpToDate が病院内の PC から閲覧でき、メディカルオンラインや医学中央雑誌は図書室内の PC から利用できます。

メンタルヘルス相談

健康問題の予防・早期発見を目的として、研修医に対して専門家による「メンタル相談」を実施してます。研修開始 3 ヶ月目を初回とし、6 ヵ月ごとに定期的なメンタルサポートを行い、研修の不安を取り除き、アドバイスを受けやすい体制づくりを行っています。

当院臨床研修のホームページはこちらから

病院見学随時受付中！　お申し込みはホームページから

当院初期研修の Facebook・Instagram・LINE にて
情報発信や医学生向けイベント紹介を行っています。
ぜひ「いいね！」&フォローしてください！

お問合せ

公益財団法人筑波メディカルセンター　総務部人事課　教育研修管理室
〒305-8558　茨城県つくば市天久保１丁目３番地１

TEL 029-851-3511（代）